

意識と備えが“いのち”を守る

意識

しゅつすいさ
出水期に想定される災害とは？

●洪水

大雨により河川の流量が異常に増加し、堤防の決壊や河川の水が堤防を越えて氾濫する災害

●土砂災害

がけ崩れ

大雨などによって地面に水分がしみ込み、地盤がゆるんで急な斜面が突然崩れ落ちます。



土砂流

長引く雨により谷や渓流から地面の土や石、木を含んだ濁流が一気に押し流されます。



地すべり

比較的緩やかな斜面で地中の滑りやすい層が地下水などの影響でゆっくりと動き出します。



出水期とは

6月から10月までは台風や集中豪雨などで洪水や土砂災害が発生しやすい時期です。特に最近、「ゲリラ豪雨」や「線状降水帯」といった予測が難しい集中豪雨が大きな被害をもたらしています。

意識

自分の住んでいる地域の災害リスクは？

- 洪水（河川氾濫）は、浸水想定区域を確認
- 土砂災害は、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域を確認

備え

大和郡山市
総合防災マップを
確認しよう！

市ホームページで
確認できます！

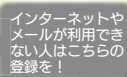


意識

避難情報ってどうしたら
知ることができるの？

- 緊急速報メール
- 市公式 LINE
- 市民安全メール（登録制）
- 防災情報電話配信サービス（登録制）

避難情報の発令など緊急性の高い情報を一定のエリアに存在する携帯電話等へ警告音と共に一斉配信します（マナーモードでも着信）。



インターネットやメールが利用できない人はこちらの登録を！

備え

災害時の情報を入手する方法を
確認しておこう！

意識

避難をするべき
タイミングはいつ？

備え

警戒レベルによる避難情報から
避難のタイミングを考えよう！

警戒レベル	住民の行動	避難情報等
1 災害への心構え	情報収集 気象情報やハザードマップ、避難先を確認しておく。	早期注意情報
2 避難行動の確認	いつでも避難できるように準備 最低3日分の備蓄品、非常持出品を準備する。 避難経路も確認しておく。	洪水注意報 大雨注意報等
3 危険な場所から 高齢者等は避難	各自の判断で避難 避難に時間を要する高齢者、障がいのある人、乳幼児等、またその支援者は早めに避難を開始する。	高齢者等避難
4 危険な場所から 全員避難	速やかに避難 該当地域の人は速やかに避難を開始する。 避難するほうが危険な場合は即座避難を！	避難指示
5 すでに災害が発生・切迫している状況です！命を守る行動を！		緊急安全確保

気象庁が発表

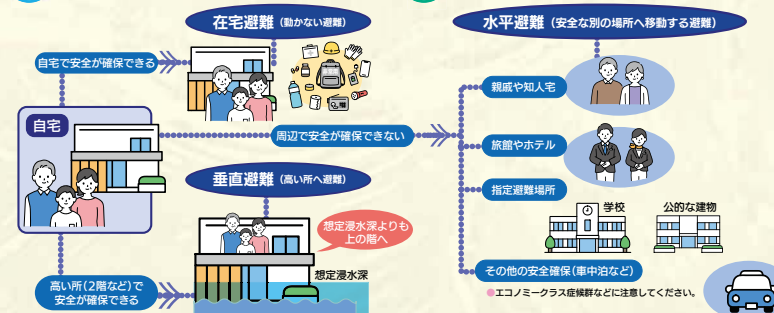
●大雨警報
●洪水警報
●土砂災害警戒情報
などをもとに
大和郡山市が
避難情報を発令

意識

どのように
避難したらいいの？

備え

災害の状況に応じた適切な
行動を確認しよう！



備え

普段から
家庭備蓄をしておこう！

非常持出品・家庭備蓄品の
リストがダウンロードできます



災害時の停電や断水に備え、各家庭で非常食や飲料水、便袋などの簡易トイレ、懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリーなどを準備しておきましょう。

最低でも3日分、できれば1週間分を備蓄しましょう。

非常持ち出し品を準備しておきましょう！

- Point 1 1人1つリュックを用意する
- Point 2 最初の1日に必要な1人分の物品を入れる
- Point 3 重さの目安は10kg前後にし、無理なく持ち運べる重さに調整する

こどもは
3kg程度



問合せ＝災害対策課（内線629）